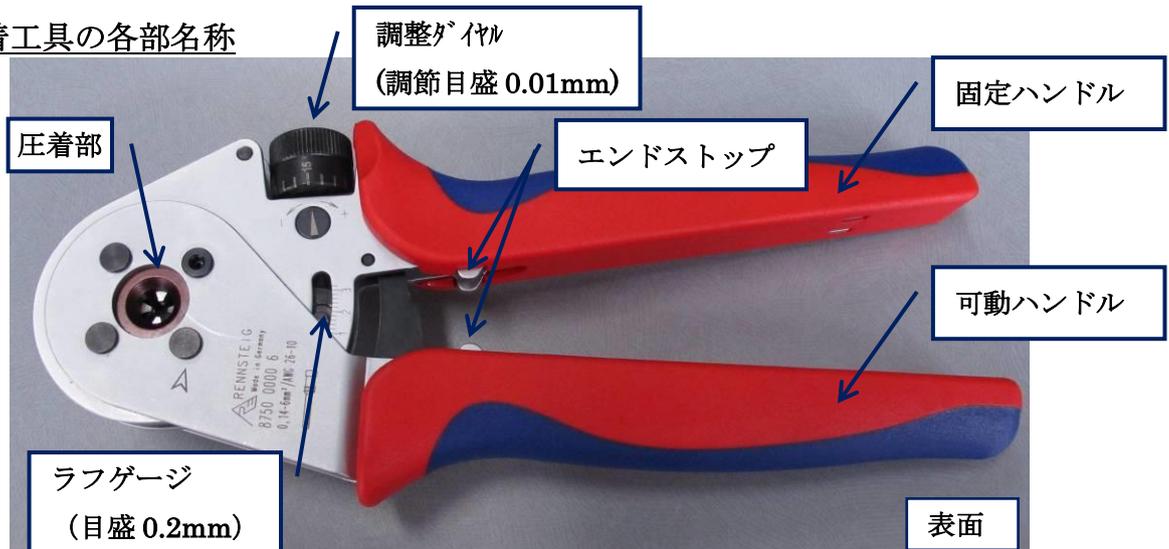


本品は、CC1.6、CC2.5、CC4.0のコンタクトを圧着する工具です。
コンタクトのサイズに応じて、調整ダイヤルとロケータを設定することで圧着作業を行うことができます。

適用品番

- ・ Y S T L 2 6 5 (R E N N S T E I G 社標準工具)
(圧着適応範囲 ; 0.14~6.0mm²、AWG#26~10)
- ・ Y S T L 2 6 6 (Y S T L 2 6 5 圧着工具用検査ゲージ)

圧着工具の各部名称



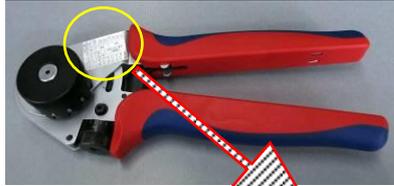
確認事項 (作業前に励行願ます。)

- ・ ハンドルをストップエンドが当るまで手で握りラチェットが解除することを確認して下さい。
- ・ ハンドルがスムーズに動くことを確認して下さい。
- ・ 工具可動部にゴミ、異物が付着していないことを確認して下さい。
- ・ 圧着部の4ヶの爪が変形していないことを確認して下さい。
- ・ 調整ダイヤルがスムーズに回転することを確認して下さい。

! 圧着工具を分解したりしないで下さい。

圧着作業手順

・圧着するコンタクトは、工具に貼ってある圧着設定一覧表を見て圧着深さとロケータポジションをダイヤルで設定します。



圧着設定一覧表

コンタクトシリーズ	POS	SET
YD・YDD/03 (0.14, 0.25, 0.37)	1	1.3
YD・YDD/ 05, 07, 10, 15, 25		1.55
YE/05, 07, 10	2	1.8
YE/15, 25		2.0
YE/40	3	1.55
YC/15		1.8
YC/25		2.0
YC/40		2.5
YC/60		

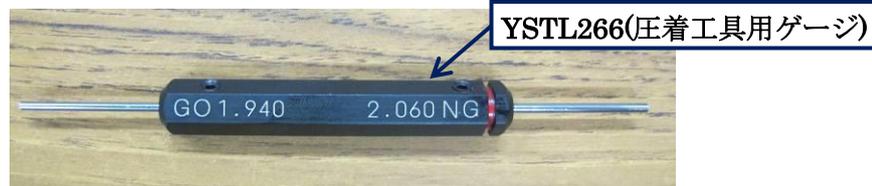
ロケータポジション No.

圧着深さ設定値



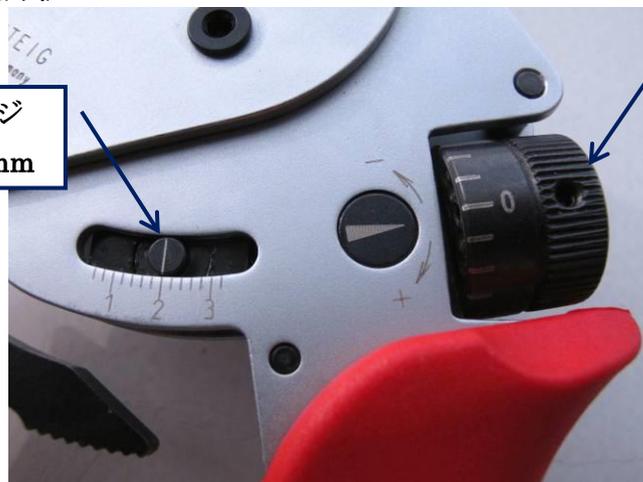
圧着深さ調整値が“2.0”の位置で YSTL266 圧着工具用ゲージを使用して作業前に検査を実施願います。(推奨：作業前と作業終了時)

圧着工具用ゲージは、ハンドルが閉じた状態でゲージを垂直に挿入して下さい。
ゲージは圧着しないで下さい。(GO：挿入出来る、NG：挿入出来ない)



圧着深さ設定方法

ラフゲージ
目盛 0.2mm



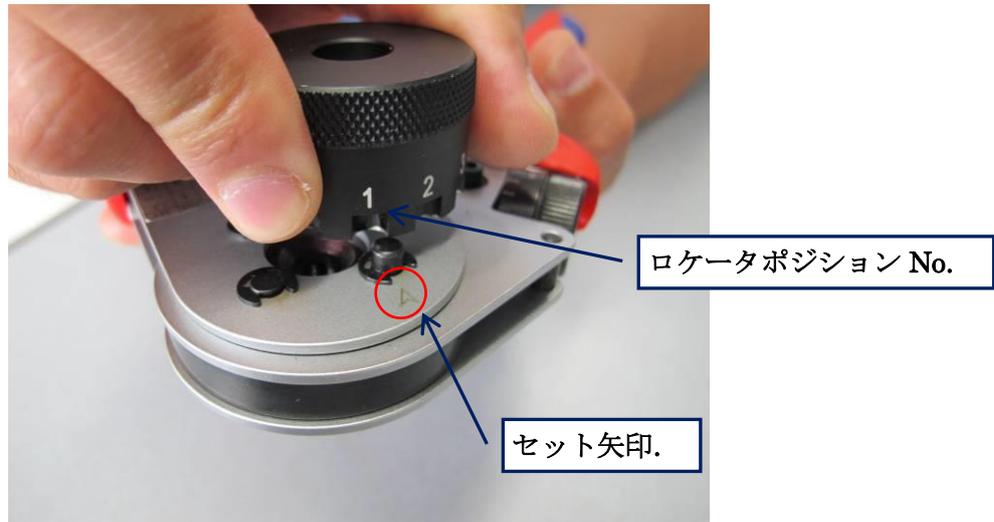
調整ダイヤル

- : 圧着深さ減少
目盛 : 0.01mm
(ダイヤル1回転 : 0.2mm)
+ : 圧着深さ増加

調整ダイヤルはラフゲージと連動しますのでラフゲージの設定値を確認し調整ダイヤルを回して下さい。(上写真は、ラフゲージ“2”、調整ダイヤル“0”ですので圧着深さ調整値は“2.0”となります。)

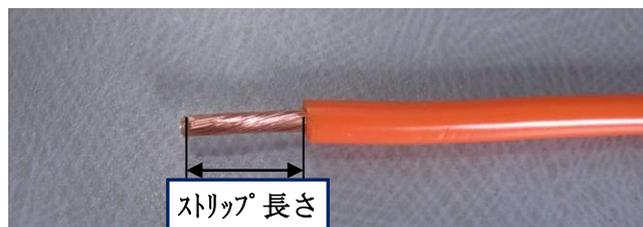
ロケータの設定

- ・ 圧着するコンタクトは、工具に貼ってある工具設定一覧表を見てロケータポジション No. にロケータを合わせます。
ロケータは手で垂直に持ち上げながら回転させ矢印と溝が合う位置にセットします。



圧着作業手順

- 1、圧着するコンタクト種類に応じて適用電線をストリップします。
(ストリップ長さは表 1 を参照下さい)



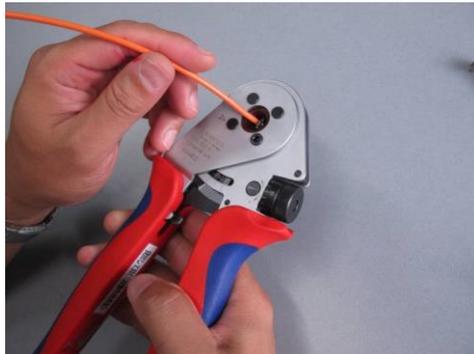
- 2、ハンドルを開いた状態でコンタクト圧着部に挿入し、コンタクトが斜めにならない様にロケータにセットします。



- 3、ストリップした電線をコンタクト穴に挿入して下さい。
注：電線はヒゲが出ない様に注意して挿入して下さい。



- 4、ハンドルを握りラチェットが解除されるまで閉じて下さい。
(ハンドルを閉じる際、電線を手で軽く押えて電線が抜けない様にして下さい)



- 5、ハンドルを開いてコンタクトを取り出して下さい。
コンタクトは変形したり、圧着部から素線が飛び出したり、電線がコンタクト内径奥まで挿入されているか確認して下さい。



正常圧着施工品



ヒゲ不良品



この穴から素線が見える OK品



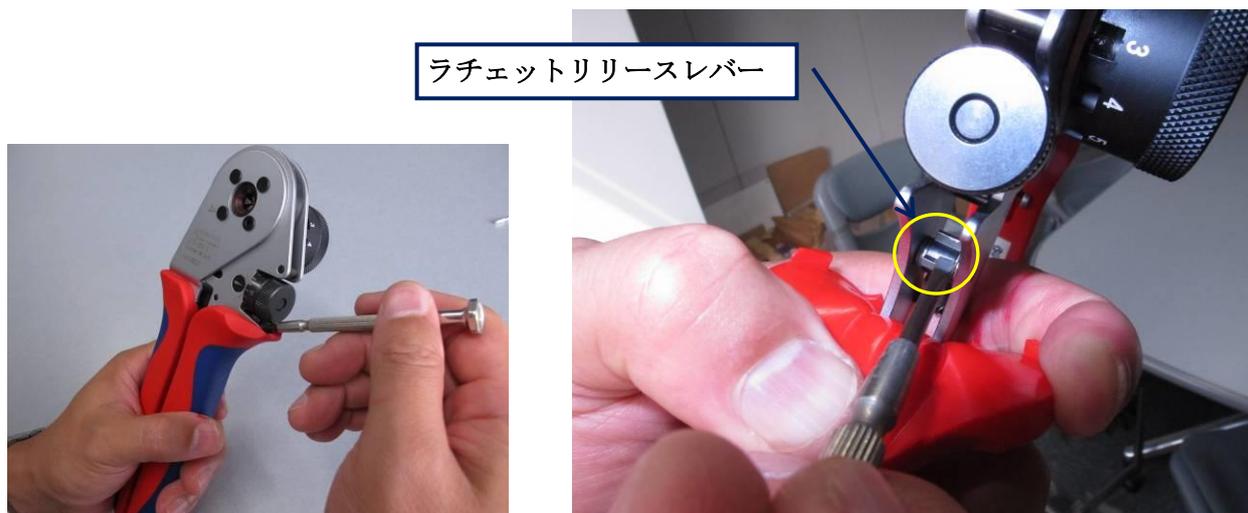
この穴から素線が見えない
電線挿入不足 NG品



定期的に圧着したコンタクトの引張り強度を確認して下さい。(表2参照)

ラチェットの解除方法

圧着を失敗した場合、圧着工具の下記写真のようにマイナスドライバーを挿入してラチェット爪のリリースレバーを下げることでラチェットは解除されます。



! ラチェット機構が破損したり、ハンドルの動きが硬くなったり、通常と違う動きが発生した場合、作業を中止して三桂製作所に御連絡願います。

表 1

	適用コンタクト		適用電線サイズ			圧着深さ 設定値 (mm)	圧着深さ 検査ゲージ
	オス コンタクト	メス コンタクト	mm ²	AWG	ストリップ 長さ(mm)		
CC1.6	YSCMD03	YSCFD03	0.14、0.25 0.37	26,24,2 2	8.0	1.3	YSTL266
	YSCMD05	YSCFD05	0.5	20		1.55	
	YSCMD07	YSCFD07	0.75	18			
	YSCMD10	YSCFD10	1.0	18			
	YSCMD15	YSCFD15	1.5	16			
	YSCMD25	YSCFD25	2.5	14			
CC2.5	YSCME05	YSCFE05	0.5	20	7.5	1.8	
	YSCME07	YSCFE07	0.75	18			
	YSCME10	YSCFE10	1.0	18			
	YSCME15	YSCFE15	1.5	16			
	YSCME25	YSCFE25	2.5	14			
	YSCME30	YSCFE30	3.0	12		2.0	
	YSCME40	YSCFE40	4.0	12			
CC4.0	YSCMC15	YSCFC15	1.5	16	9.0	1.55	
	YSCMC25	YSCFC25	2.5	14		1.8	
	YSCMC40	YSCFC40	4.0	12	9.6	2.0	
	YSCMC60	YSCFC60	6.0	10		2.5	

コンタクト形状



CC1.6 オスコンタクト



CC2.5 オスコンタクト



CC4.0 オスコンタクト



CC1.6 メスコンタクト



CC2.5 メスコンタクト



CC4.0 メスコンタクト

圧着したコンタクトの電線引張強度は、表 2(DIN IEC60352-2)により規定されます。

表 2

導体断面積		引張強度 (最小)
mm ²	AWG	N
0.14	—	18
0.22	24	28
0.25	—	32
0.32	22	40
0.5	20	60
0.75	—	85
0.82	18	90
1.0	—	108
1.3	16	135
1.5	—	150
2.1	14	200
2.5	—	230
3.3	12	275
4.0	—	310
5.3	10	355
6.0	—	360

